

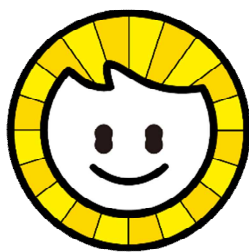
太田市自分ごと化会議 2024

提案書

<テーマ>

地域通貨

～誰でも気軽に使える OTACO～



太田市デジタル金券

OTACO

令和 7 年3月

< 目 次 >

～ はじめに ～	p.1
I 「太田市自分ごと化会議 2024」の概要.....	p.2
II 自分ごと化会議からの5つの提案.....	p.4
III OTACO 自分ごと化宣言.....	p.14
IV 資料:参加者アンケート結果(抜粋).....	p.15

～ はじめに ～

昨年の10月から始まった太田市自分ごと化会議では、「地域通貨～誰でも気軽に使えるOTACO～」をテーマに、全4回の会議を開催し、議論を重ねてきました。住民基本台帳から無作為に抽出された900人の中から参加を希望した16人の委員と、10人のOB・OGが集まったこの会議では、年齢や職業、経歴など多様な背景を持つ人々と話し合い、市民の一人として意見を発信し、多くの気づきを得ることができました。

「OTACO」は、太田市内でのみ利用可能な地域通貨です。これまで、期間限定のポイント上乘せキャンペーンなどでその存在を目にしていたり、実際に使用したこともありましたが、単なる支払いツールの一つである以上のことは深く考えたことがありませんでした。

そもそも「OTACO とは何か」「実施している目的は何なのか」という前提について理解を深めながら、第1・2回の会議では、主に通貨、支払いツールとしての側面を中心に、それぞれの生活の中での現状を共有したり、課題を認識していきました。第3・4回の会議では、OTACOのPR方法や地域経済の活性化について、議論を重ねました。多様な背景を持ちながらも、「太田市が好き」「太田市をもっと良くしたい」という思いが共通する私たちが、太田市のため、OTACO活用のために自分たちに何ができるか、地域では何ができるか、そのために行政(太田市役所)では何が必要かについて話し合った結果が、この提案書です。

この5つの提案は、行政に対するメッセージであると同時に、私たち市民に対するメッセージでもあります。OTACOは、日常生活の中で無くても困らないものかもしれません。しかし、OTACOを使うことが地域経済の活性化やコミュニティの形成など愛する太田市のためになるのであれば、私たちはOTACOを知り、使い、広めていきたいと思います。そして、市民・地域・行政が一体となってOTACOの利用促進と地域活性化に取り組み、太田市の魅力を最大限に生かした住みやすいまちづくりを目指しましょう。

太田市がこの提案書を有効に活用していただくことを強く望むとともに、こうしたまちの現状を「自分ごと」として考える取り組みが今後も続いていくことを期待します。

令和7年3月
太田市自分ごと化会議2024 委員一同

I 「太田市自分ごと化会議 2024」の概要

○太田市自分ごと化会議2024 委員

無作為に抽出し案内を送付した人数	900 人
無作為抽出により応募した委員(応募率)	16人(1.78%)
過去の会議の OB・OG(2 回目の参加)	10人
参加した委員(実際の参加者合計)	23 人

○太田市自分ごと化会議2024 委員一覧

青柳 靖子	遠藤 弘之	大兼 タ奈	梶原 拓也
金子 一実	栗原 和之	小林 峰子	近藤 由佳
齋藤 一之	酒井 俊太郎	佐瀬 りおん	重田 友美
清水 結菜	関川 久廣	田島 久恵	田中 要有
塚越 美帆	深須 そら	丸山 拓也	茂木 愛
森 峻彦	與那嶺 友里		他 4 名

※掲載に同意いただいた委員の氏名を掲載。

○太田市産業政策課 ※テーマである「地域通貨」の担当部局として会議に参加

- ・伊藤 弘美(参事)
- ・新井 慈典(課長補佐)
- ・中村 勇輝(主任)
- ・田部井 猛(主任)

○太田市情報管理課 ※テーマ「地域通貨」に関連し、「行政ポイント」の担当部局として会議に参加

- ・橋本 淳(課長補佐)

○一般社団法人構想日本

<コーディネーター(議論の整理役)>

- ・秋元 真彦(フェロー)

<補助スタッフ>

- ・石塚 康志(シニアフェロー)
- ・高橋 里穂子(プロジェクトリーダー)

○一般社団法人キャッシュレス推進協議会

<ナビゲーター>

- ・鈴木 麻友(ディレクター)

○テーマ

「地域通貨 ～誰でも気軽に使える OTACO～」

○各回の概要

- ・第1回会議:2024 年 10 月19 日(土)
 - ・実施趣旨について(太田市企画政策課)
 - ・地域通貨「OTACO」の概要と現状について(太田市産業政策課)
 - ・自分ごと化会議とは(構想日本)
 - ・委員の自己紹介
 - ・テーマについて議論
 - ・オンラインプラットフォーム Liqlid の紹介(Liquidous)
- ・第2回会議:2024 年11 月 23 日(土)
 - ・第1回会議の振り返り
 - ・「行政ポイント」の概要と現状について(太田市情報管理課)
 - ・テーマについて議論
 - ・「改善提案シート」の記入など
- ・第3回会議:2024年12 月21 日(土)
 - ・第2回会議の振り返り
 - ・ナビゲーターによる情報提供「地域通貨の意義と可能性」
 - ・テーマについて議論
 - ・「改善提案シート」の記入など
- ・第4回会議:2025 年 2 月 1 日(土)
 - ・これまでの会議の振り返り
 - ・提案書案を基に議論
 - ・「意見提出シート」の記入」など

○集合写真



※第 4 回会議にて撮影

Ⅱ 自分ごと化会議からの5つの提案

◆OTACOを知る、伝える

提 案

1. OTACOをより多くの人に知って、使ってもらうために、私たち市民と地域、行政が手を取り、多角的なPRに取り組む

◆みんなが使いたくなる OTACO

提 案

2. OTACOポイントを受け取る機会と支払える場所を増やし、利用シーンを拡大する

提 案

3. みんながOTACOの便利さを実感できるように、市民・地域・行政のそれぞれが連携し、使いやすいアプリと仕組みを作りあげる

◆OTACOの新たな使い方を考える

提 案

4. OTACOを支払いツール以外にも活用し、一人ひとりの行動を「地域のための行動」「より住みやすいまちづくりのための行動」につなげる

◆地域のありたい姿を目指して

提 案

5. 多様な主体が連携して、安全安心で快適な暮らしを実現することで、太田市の魅力を最大限に生かした住みやすいまちを実現する

◆OTACO を知る、伝える

提 案

1. OTACO をより多くの人に知って、使ってもらうために、
私たち市民と地域、行政が手を取り、多角的な PR に取り組む

地域通貨 OTACO の導入から約 2 年が経過しても、まだまだその存在を知らない人や使ったことの無い人がいることが分かった。また、使ったことはあっても OTACO を使うことのメリットや地域への還元性についてはほとんど知られていないことも明らかとなった。私たちは、まず OTACO を使ってみること、そしてそれを身近な場所から広めていく必要がある。

「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち住民

- ① まずは自分が OTACO について知る。
- ② 友達や家族、ご近所さんなどの身近な人に、OTACO の使い方やメリットを教える。
- ③ 情報、商業など学校で学んだことを活用して、自分でも PR してみる。

地域

- ① 学校でチラシを配布し、子どもから親へどんどん広めていく。
- ② 学校で出前授業を行い、OTACO を紹介する。(例えば、歴史の授業で、昔は各藩で使用できる藩札があったこと、今は市内でのみ使える地域通貨があることを教えるなど)
- ③ 回覧板や自治会、区長会など、地域の間でも OTACO の使い方や OTACO のメリット(地元企業の応援になる、手数料がかからないなど)を周知する。行政が行っている OTACO の説明を市民がやってみる。
- ④ 公民館や、大型施設、公共の施設(学校も含む)でアプリの登録講座を開催する。
- ⑤ 地域の関心を集めるために、商店街などのイベントで地域通貨の特設ブースを開設する。
- ⑥ 高校生、大学生や群馬の魅力を発信しているインスタグラマーの方に OTACO の情報発信をしてもらう。
- ⑦ 自治会や飲食店組合で OTACO の需要についてアンケートを行い、行政と連携する。

行政

- ① 市役所や行政センターでスマホでの登録の仕方についての案内・指導を行う。
- ② チラシやポスターのデザインを公募する。(〇〇賞などイベント性を持たせる。インスタグラムなどでコンペを実施する。)

- ③ OTACO を使いたくなるような、わくわくするデザインのチラシを作る。(市立高校の商業科の学生など、専門的なことを学んでいる学生に協力してもらい、効果的な PR をする。)
 - ④ OTACO をチャージできる場所に、使い方の説明書きを貼ったり、カード使用可能店舗かどうかをのぼり旗にも記すなど、掲示を分かりやすくする。
 - ⑤ 春夏秋冬などのタイミングで、ポスターや回覧板などで OTACO 使ってみませんか？と周知する。
 - ⑥ OTACO の使い方やメリットを様々な方向、媒体で伝える。
 - ⑦ ターゲットを 20～40 歳代の子育て世代にしぼって学校で QR コード付きのチラシを配布するなどの PR する。
 - ⑧ 高校生に向けて、OTACO は、クレジットカードなどが使えない高校生でも使えることをアピールする。
 - ⑨ 利用者が増えるよう効果的な PR をするために、利用者の統計を取り、詳しく調べる。(他地区エリアからの流入人口についてのアンケートを実施する。自治会や飲食店組合へアンケート実施のお願いをする。)
 - ⑩ 市外に住む人や OTACO に関心がない人への認知度を上げる。
- ① 「OTACO」は下の名前だと思うので、OTACO の名字を募集するキャンペーンを実施してはどうか。「太田オタ子」では単純すぎるので、アンケートを行い、良い名前を募集することで、市民の関心も集められる。

その他

◆みんなが使いたくなる OTACO

提 案

2. OTACO ポイントを受け取る機会と支払える場所を増やし、 利用シーンを拡大する

議論の中で、自分でチャージしてまで OTACO での支払いを選択する理由がないという課題や、思っているよりも身近に加盟店が少ないという課題があることが分かった。一方で、OTACO で付与された「行政ポイント」のほぼすべてが太田市内での買い物に使われており、市内の経済活動活性化につながっていることも分かった。つまり、行政ポイントの拡大と、加盟店の増加をはじめとした OTACO の利用シーンを増やすことが、市内の経済活動活性化につながるのではないだろうか。そのためにも、お店が使いたいと思えるような OTACO である必要がある。

「提案 2」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち住民

- ① アプリを登録したり、カードを購入したりして実際に OTACO を使ってみる。
- ② 普段の買い物を OTACO で支払う。OTACO の加盟店を調べてみる。
- ③ 子どものお小遣いや、高齢者向けに、プリペイド式の OTACO を活用する。(子どもに地域通貨に触れてもらい、地域経済の流れに関心をもってもらう。)
- ④ OTACO を導入してみないか馴染みのお店に提案してみる。

地域

- ① OTACO が使用できる店を増やすように地域ぐるみで宣伝活動に取り組む。(カード利用含め)
- ② どのお店で使えたら便利か、地区の意見をまとめて、行政やお店に意見を伝えてみる。
- ③ OTACO ポイントを持っている人が、自分の店で買い物をしてくれること以外の加盟店のメリットを調べ、広める。

行政

- ① OTACO(カード型)の購入可能場所を増やす。
- ② 公共交通機関を利用する際や、公共施設の使用料を OTACO で支払えるようにする。
- ③ 行政ポイントの種類を増やし、現在の発行額に占める割合 18%(約 5.4 億円相当)を 25%(約 7.5 億円相当)まで増やす。(制服、ランドセル、自転車のヘルメットなどの補助金・助成金、市からの委託を受けている役員の報奨金など)
- ④ 市からの補助金や助成金を、現金で受け取るか、OTACO で受け取るかを選べるようにし、OTACO を選べば〇〇%お得とする。(保育園・幼稚園・こども園の

給食費の補助を OTACO で受け取っている親世代では、実際に OTACO の利用者が多い実感がある。)

- ⑤ 電話一本で対応できる加盟店向けの窓口を設置する。
- ⑥ 他のオンライン決済に比べ、加盟店側の手数料などの負担が無い(市が負担しているため)ことを広報する。
- ⑦ 店舗が加盟することのメリットを感じられる仕組みを作り、メリットを明確に提示する。(加盟店舗の紹介 PR を市の広報に掲載する、OTACO で支払われたら店舗側にもポイントを入れる仕組みを作る、利用者データを分析し、加盟店舗に活用してもらうなど)
- ⑧ どこのお店で使えたら便利か、市民や自治会を対象にアンケートを実施し、その意見をもとにお店にアプローチする。

その他

- ① デジタル通貨はお金を触らずに代金決済ができ衛生的なため、特に、飲食店に対してメリットをPRする。

～コラム:自分ごと化会議に参加した理由～

自分ごと化会議に参加しようと思ったきっかけは何だったのでしょうか？第1回の自分ごと化会議では、この会議への参加動機について聞いてみました。 ※重複あり

好奇心(11人)

OTACO、自分ごと化会議、行政への関心

- ・面白そうな話が聞けそうだと思って参加した。
- ・OTACO の仕組みを知る良い機会だと思って参加した。自分ごと化会議そのものにも興味があった。

荣誉感(5人)

せっかく「選ばれた」からには参加したいという積極性

交流(3人)

日常とは異なる人との関わり

貢献心(3人)

太田や子どものために何かできればという意識

◆答えの中で「封筒」に言及される方が複数いました。「役所から封筒が届く」ということのインパクトが大きいということが分かります。もしかしたら役所からの封筒であることが参加動機に何らかの影響があったかもしれません。

提 案

3. みんなが OTACO の便利さを実感できるように、市民・地域・行政のそれぞれが連携し、使いやすいアプリと仕組みを作りあげる

より多くの人に OTACO をもっと使ってもらうためには、使いやすさの改善が必要である。議論の中で、OTACO がどこで使えるのかが分かりにくく、使うハードルが高いという意見が出た。OTACO を使える店はどこにあるのか、ここから近いのか、一目で見て分かる仕組みがあればハードルが低くなる。また、近隣の人と話をし、普段から情報共有しておくことも大切である。加えて、他の決済手段ではなく OTACO を選ぶ理由についても考えた。

支払い手数料の負担軽減や決済のスムーズ化、市内での経済循環などのメリットが地域通貨にはある。そのメリットを知って広めて、より多くの市民の「太田愛」に訴えかけたい。そして、より「使いたくなる」OTACO のあり方を考えたい。

「提案 3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち住民	① OTACO 加盟店ののぼりを探し、OTACO で支払ってみる。 ② 加盟店側の手数料の負担がないというメリットを理解し、自ら進んで OTACO を使用する。
地域	① 使用できる店舗を分かりやすくまとめ、加盟店の情報を回覧板で回す。 ② 地域の飲食店や自営業で、OTACO で支払うことでサービスを得られるような取り組みを行う。
行政	① 店舗検索しやすいようにアプリを改善する。 ② 加盟店マップを作り、加盟店がどこにあるかを分かりやすくする。(そうすれば、移動が困難な高齢者も使いやすくなる。) ③ 現行のキャンペーンのような大きなポイント上乘せイベントと、小さなイベントをうまく組み合わせる。(キャンペーンで50%、20%とポイントを付与するより、支払い時に1%ポイント付与の方がお得感がある。) ④ OTACO を使うと値引きされるなどの使いたくなる仕組みを作る。公共施設が安くなったり、タダになるなどの利用者のメリットを増やす。今すぐ実施できるメリットを探す。 ⑤ OTACO アプリに、加盟店がおすすめ情報を投稿できるようにする。(例えば、その店のオススメ(商品でも、店員でも)、季節限定商品やキャンペーンなど) ⑥ OTACO アプリに「OTA いいね」のコーナーを作って、市民が自由に太田市内のお気に入りの場所、おすすめの店、好きな景色などを投稿できるようにする。('行ってみたい！' '行ってみた！' などの欄を作り、一定の数が貯まったら、投稿者に

OTACO が付与される仕組みがあればもっと使いたくなる。写真を撮る事やアップするのが好きな人は意外と多いので、副業にもなる。）

- ⑦ OTACO を利用することによる太田市へのメリットをはっきりさせてポスターに載せる、市民の太田愛に訴えかける。

その他

- ① 店で買い物をする場合に、わざわざ OTACO をチャージして支払おうと思えるメリットが必要である。（県のぐーちょきパスポートのように、OTACO で支払い時は何%OFF や子育て世代と高齢者に焦点を当てた取り組み、ご飯屋さんでのアイスサービスなど、お得を感じられる工夫があると良い。）
- ② 人と人とのポイントの送付ができるようになると良い。

～コラム：「地域」とは何か～

自分ごと化会議では、「住民」「行政」の他、課題解決のために「地域でできること」を話合いました。ここでの「地域」とは具体的に何を指すのでしょうか？それは、必ずしも「自治会」「町内会」「区」に限られないようです。



◆OTACO の新たな使い方を考える

提 案

4. OTACO を支払いツール以外にも活用し、一人ひとりの行動を 「地域のための行動」「より住みやすいまちづくりのための行動」 につなげる

地域通貨の目的は単なる「支払い」にとどまらない。「行動変容促進」を目的とする活用方法としては、今まさに市で行っている健康づくりのための「わくわくポイント」がある。食事記録、歩数目標などを達成すると「わくポ」が貯まり、それを OTACO ポイントとして支払いに使用できる仕組みだ。ほかの自治体では、「特定グループの支援」「情報発信ツール」「コミュニティ形成」「外部人口関与」など、地域通貨をきっかけとして様々な活動が生まれているところもある。

このような取り組みを、OTACO でも取り入れる事ができないだろうか。例えば、ボランティア活動、公共交通の利用など、OTACO を活用し、私たちのより良い暮らしのモチベーションアップを図ることで地域のために何かできるかもしれない。

「提案4」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち住民

- ① 地域への貢献を意識し、OTACO を積極的に利用する。(年末年始のお歳暮やお年賀で、太田市の物産を OTACO で買うようにする。太田市の自営業、農家などの商品を OTACO で支払うなど。)
- ② 「地域」の②を踏まえて、自治会の共同作業にすすんで参加する。
- ③ 「行政」の①を踏まえて、ボランティア活動にすすんで参加する。(サークルや趣味の仲間集めにもつながれば良い。)

地域

- ① 「行政」の①を踏まえて、ボランティアグループを作る。ボランティアが必要な所をリストアップする。
- ② 自治会の共同作業の経費支払いや、報酬として OTACO の活用ができないか話し合う。

行政

- ① 1%まちづくり事業やボランティア活動など、市のためになる活動(クリーンアップ、インフラサポート、事業補助)に対して OTACO で助成をする。報酬として、電子マネー(アプリの OTACO ポイント)だけでなく、プリペイドカード(カード型の OTACO)も提供する。(プリペイドカードであれば、配布しやすく、高齢者の方でも使いやすい。)
- ② OTACO を使うと公共交通の乗車賃がお得になる仕組みを作り、公共交通の利用を促進する。

- ③ 医療関係の支払いを OTACO でできるようにし、健康増進を支援する。
- ④ OTACO を使えば、公共施設をお得に使用できるようにする。(エアリススペースの図書館で OTACO を見せると普段本を借りられる冊数を +2 冊にする、健康センターのトレーニングジムが割引で利用できるなど、OTACO を持っているとし「具体的に」お得になるというのを PR する。具体的なものが分かれば自然と OTACO を知らなくても興味を持てる。)
- ⑤ OTACO を使うことで、スーパーなどのお店側にマージンがとられない価格設定ができる仕組みや、OTACO を使って生産者と消費者がつながれる仕組みを作り、地域の生産者支援に取り組む。
- ⑥ OTACO をポイントカード化し、支払い以外でも利用できるようにする。(スタンプリング感覚でスポットをめぐるようにして、訪れると OTACO をゲットでき、ポイントが貯まったら景品がもらえたり、ポイントが還元されたりする。)
- ⑦ 年間の OTACO 利用額に応じて、抽選を行って景品が当たるような取り組みを行う。

その他

- ① 民間企業でも、OTACO を使うと商品や利用料が少し安くなる仕組みを作る。(バスケットボールなどのスポーツ観戦の際に OTACO を使って席の確保ができるようにする、地元企業を対象に OTACO のネーミングライツや広告宣伝費を支払ってもらう、OTACO 利用限定(または前提)のマルシェを開催し、通常ルートでは販売できない規格外の農作物を販売する場を作るなど)

～コラム:みんなの「太田愛」～

「太田市が好き」「太田市になにか貢献したい」という「太田愛」あふれる皆さんの声を集めました。

封筒が届いて、太田市のためにできることがあればお手伝いしたいと思って参加した。(第 1 回)

太田市が大好きであるため、少しでも貢献できたらと思い参加した。太田市で生まれ育ったが、子育て支援が充実していると自分自身でも感じる。最近では、スポーツにも力を入れていて、発展していくのが実感できて、誇りに思う。(第 2 回)

群馬は埼玉化したくない。太田市はこのままでいいのではないかと。(大いに満足している)(第 2 回)

太田市の西部に住んでいるが、のどかで人の温かみを感じられる雰囲気が好き。(第 2 回)

太田愛のある人や行政の人と太田市をより良くするための会議ができて良かった。(第 3 回)



◆地域のありたい姿を目指して

提 案

5. 多様な主体が連携して、安全安心で快適な暮らしを実現することで、太田市の魅力を最大限に生かした住みやすいまちを実現する

会議の中で、私たちは「地域経済が発展した太田市のありたい姿」を考えた。太田市の良さは、田舎過ぎず都会過ぎない安心感。過度な都会化を目指すのではなく、道の緑化や清掃がきちんとされ、夜でも安心して歩けるような、そんな住みやすい太田市を実現したい。そのためには、人口や雇用を増やすことも不可欠である。また、OTACOを活用して、「太田市の地域通貨はおもしろい」と思える思い切った取り組みがあればもっと良い。まずは普段の暮らしの中でできることから始めよう。

「提案5」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち住民

- ① もっと太田市の魅力を知る。
- ② 口コミなどで他地区の人にふるさと納税をアピールし、寄附額を増やす。
- ③ 自分たちが感じている太田市の良さやメリットを友人や知人に話して、太田市の人口を増やす。
- ④ 友達同士で情報を共有して、明るく笑顔あふれる安全なまちを目指す。

地域

- ① 空き時間を楽しく待てるような商業施設を駅に誘致し、駅前の賑わいをつくる。
- ② 尾島や藪塚にも魅力的な食べ物や文化的な施設がたくさんあるので、もっとアピールをすることで人も集まってくるのではないかな。
- ③ 見回りや安全の確保を行い、子どもだけでなく、大人も利用しやすい公園を作る。

行政

- ① 太田市に引っ越してくる(引っ越してきた)人に行政ポイントを付与して、人口を増やす。
- ② 大きい会社やスタートアップ企業を太田市に誘致し、雇用を増やして人口も増やす。
- ③ ふるさと納税の寄附額を増やす取り組みをしたり、市の使っていない建物、土地を売却したりして市の財源を増やす。
- ④ 歩道の整備を行い、横断歩道や街灯を増やすなど、若い人たちが安心して歩道を歩いたり、自転車で通学できるための整備が必要。
- ⑤ 太田市出身のスポーツ選手に協力を依頼したり、飯塚町の埴輪や、世良田東照宮を活用して、太田市の魅力をアピールする。

Ⅲ OTACO 自分ごと化宣言

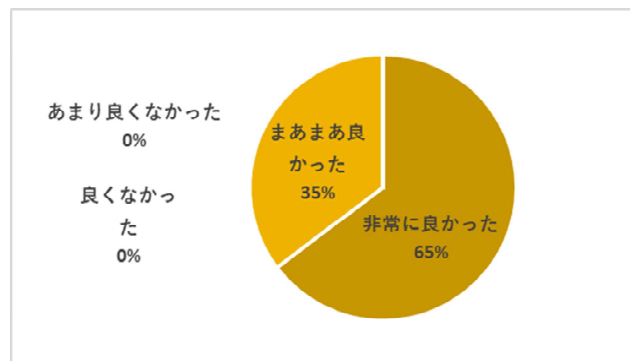
全 4 回の会議を通じて OTACO について考えた私たちが、まずはじめに取り組むことを表明します。

今年中に OTACO を 1 回でも使う	アプリを入れてみた ので使ってみる 母にも使い方を教える	アプリを入れる
身近な人にアプリを ダウンロードさせる	アプリはたぶん入れないが、カード型を 1 回は使ってみる	地元に根差したお店で使って、太田市にお金が入るように使っていきたい
キャンペーンを見かけたら、使っていく	周りの人にアピールし、少なくとも 1 人に使ってもらう	今一度 OTACO を使う、家族、友達、同僚にメリットを伝える
親や友人など 身近な人への PR を 頑張る	資格を生かして ポスター作りなどに 協力したい	身近なところでリフォーム補助金や、事業者の方たちに OTACO を広めていきたい
娘たち家族に太田市への引っ越しを勧める	ボランティア活動の際に OTACO を活用したい	

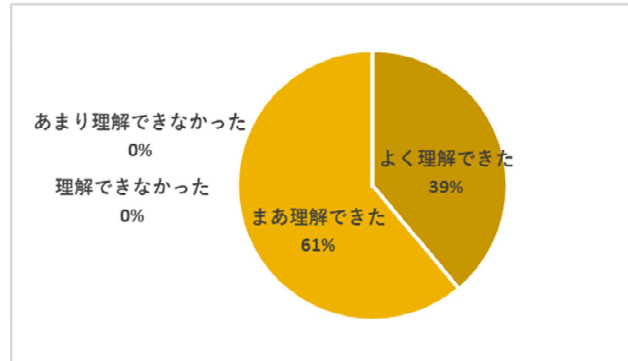
IV 資料:参加者アンケート結果(抜粋)

太田市自分ごと化会議 2024/第1回会議アンケート

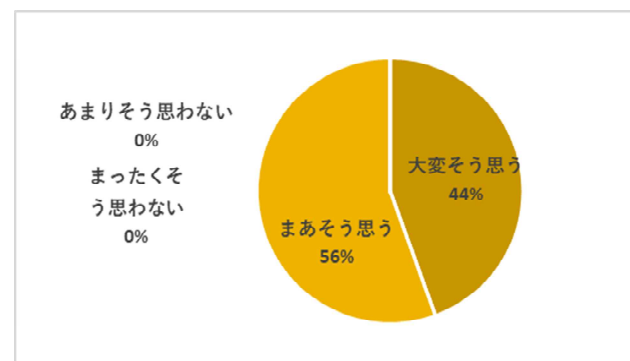
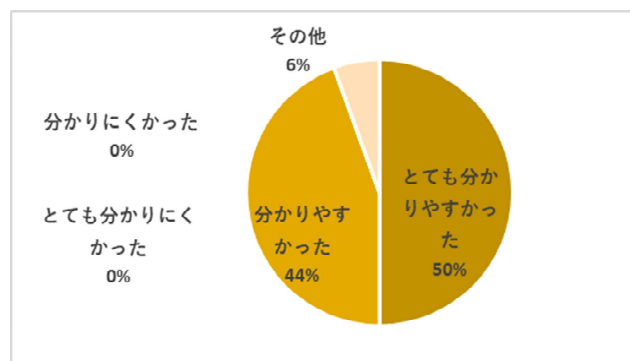
1.第1回会議に参加されていたか。



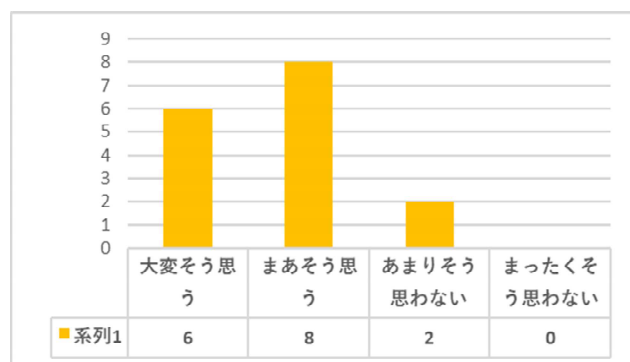
2.産業政策課の概要説明は理解しやすかったですか。



3.コーディネーターの進行・まとめ方は分かりやすかったですか。 4.対話において安心して話せる雰囲気でしたか。

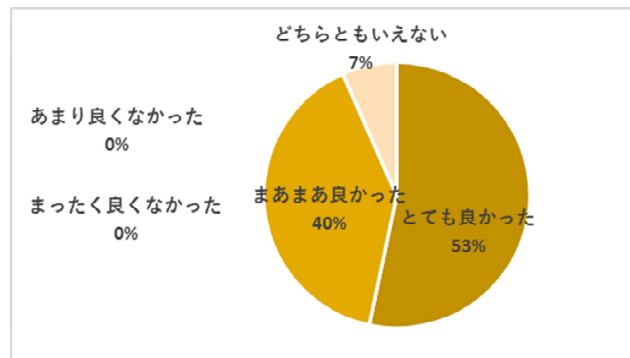


5.対話において自分の意見を言えましたか。

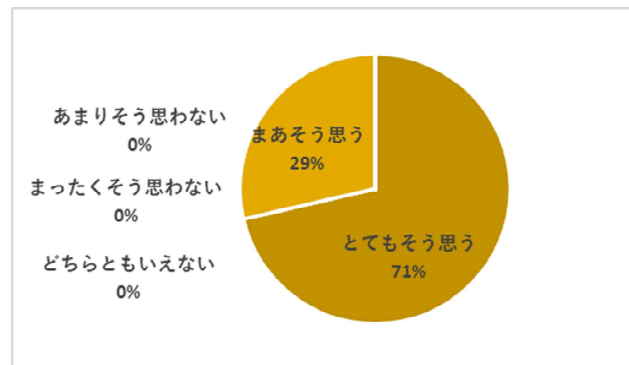


太田市自分ごと化会議 2024/第 2 回会議アンケート

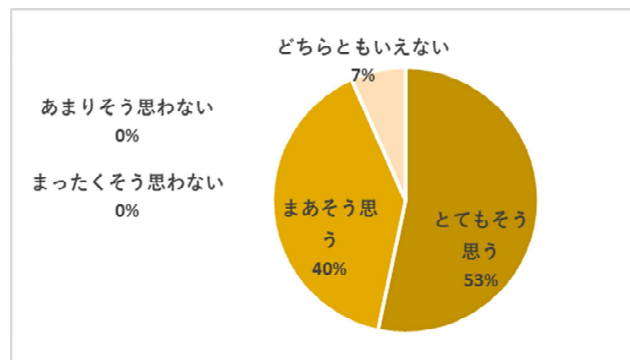
1.第 2 回会議に参加してみてもいいかでしたか。



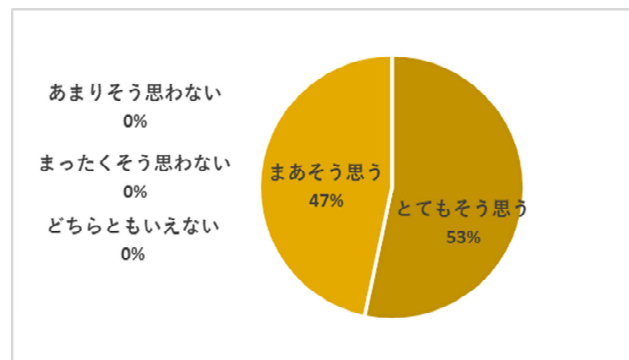
2.話し合いは安心して話せる雰囲気でしたか。



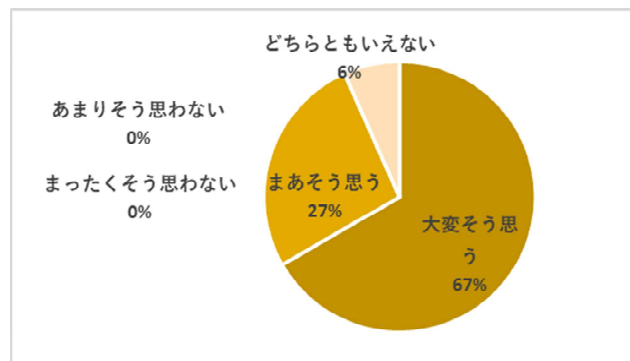
3.話し合いで自分の意見は言えましたか。



4.市の説明や質疑応答は分かりやすかったですか。

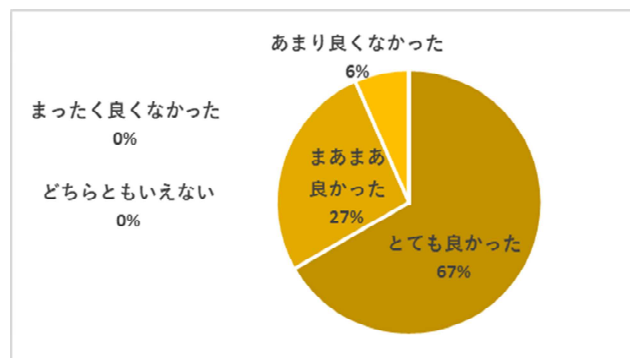


5.コーディネーターの進行・まとめ方は分かりやすかったですか。

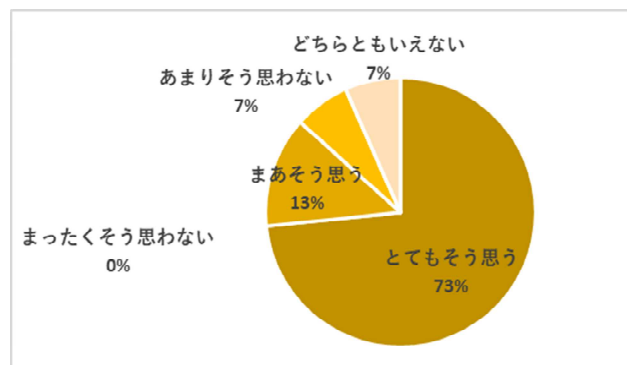


太田市自分ごと化会議 2024/第 3 回会議アンケート

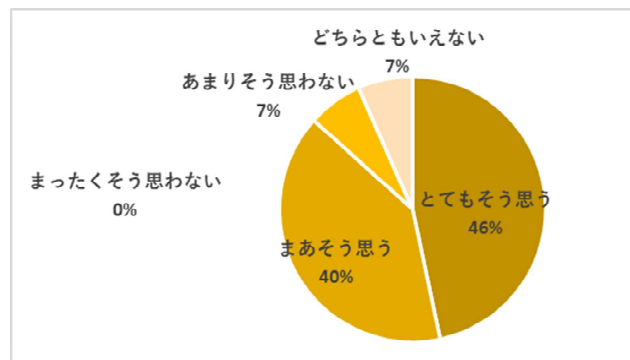
1.第 3 回会議に参加してみてもいいかでしたか。



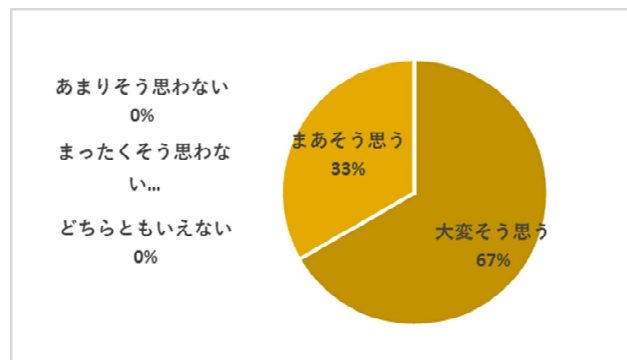
2.話し合いは安心して話せる雰囲気でしたか。



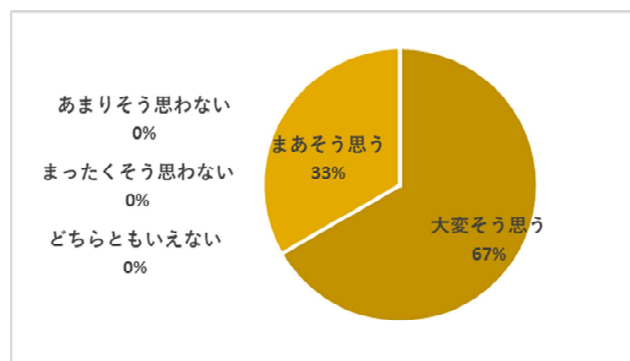
3.話し合いで自分の意見は言えましたか。



4.コーディネーターの進行・まとめ方は分かりやすかったですか。

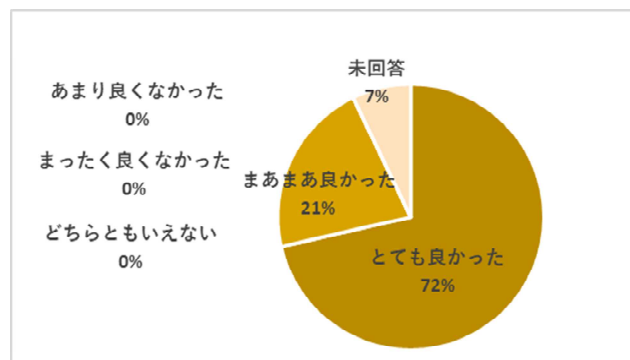


5.ナビゲーターの話は分かりやすかったですか。

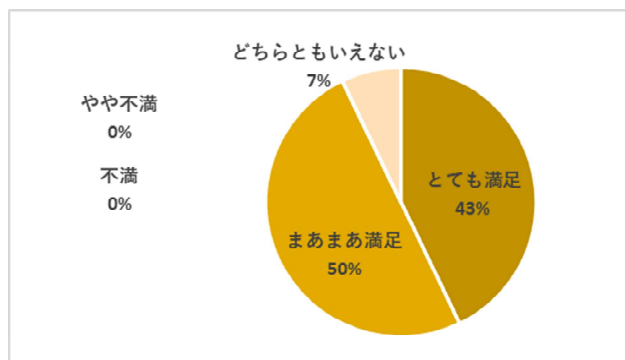


太田市自分ごと化会議 2024/第 4 回会議アンケート

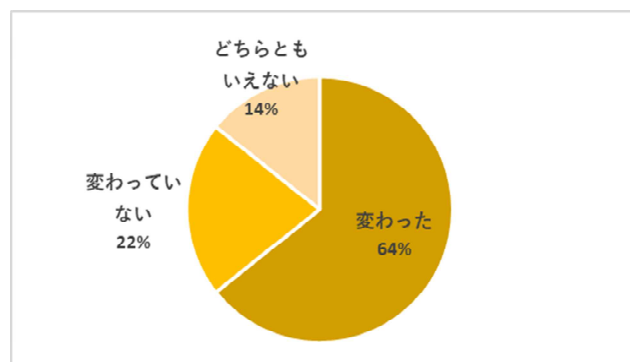
1. 第 4 回会議に参加してみてもいいかでしたか。



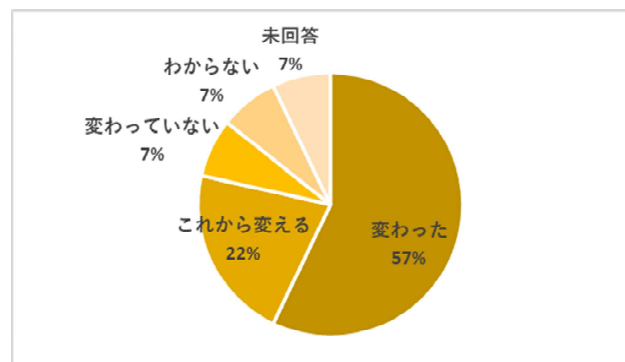
2. 今回の自分ごと化会議全体を通じての満足度を教えてください。



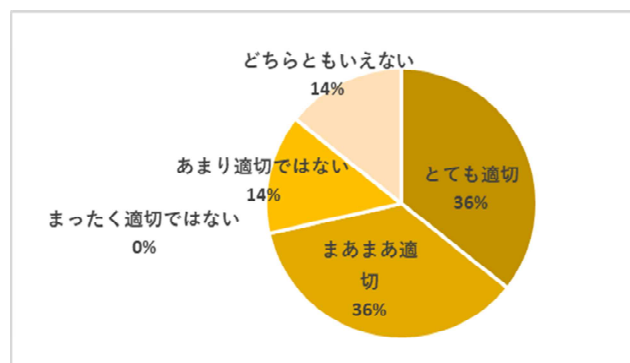
3. 会議に参加したことで意識に変化はありましたか。



4. 会議に参加したことで行動に変化はありましたか。



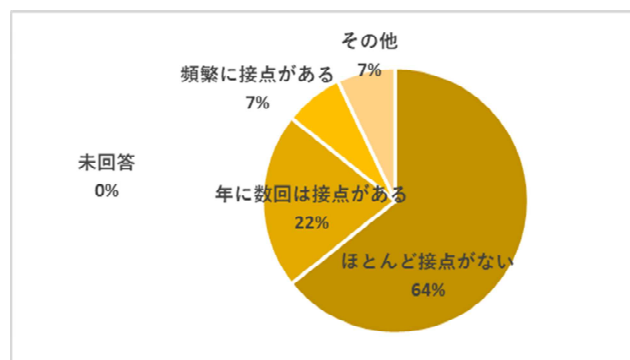
5. テーマ「地域通貨 OTACO」は、自分ごと化会議で扱うテーマとしてどう思われますか。



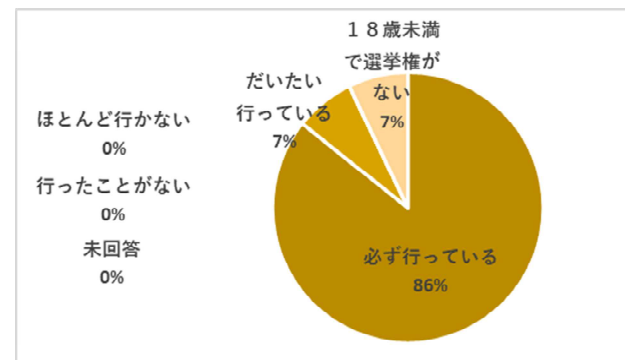
6. 今後、自分ごと化会議で扱うテーマはどのようなものが適していると思いますか。

- 災害対策
- 環境問題(ゴミ、空き家)
- 地域の安全について
- (道路)防犯灯
- 公共施設老朽化問題
- 自治会のこれから
- 子育て
- 町の騒音問題
- 身近で多くの市民に関わりがあるもの
- 市民すべてに関わりがあること
- 様々なテーマで定期的に続けて行ってほしい

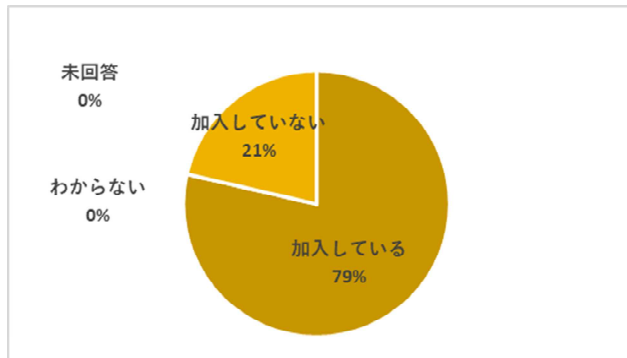
7. これまで行政とどの程度の接点がありましたか。



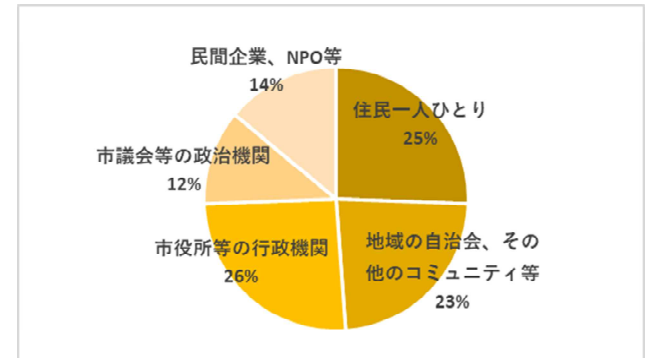
8. 選挙の投票にはどの程度行っていますか。



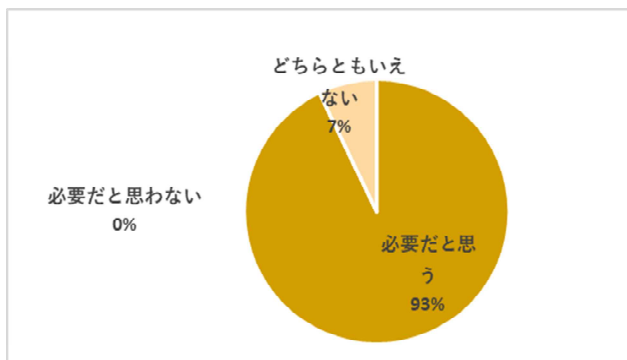
9.地域の自治会には加入していますか。



10.太田市をより良くするために特に重要に思う主体をお答えください。(複数回答可)



11.今回のように、無作為抽出の手法を使って議論するやり方についてどう思いますか。



12. あなたにとって今回のテーマの地域通貨における「自分ごと化」はどのようなことですか

- 周知し、自ら積極的に利用すること。
- 「知ること」
- OTACO を使うことで自分の住む町に関わってくると改めて感じた。
- 自身の利用について、見直すことから、太田市はこれからどうなっていくかと考えるいい機会でした。
- 自分の地域の地域通貨を理解し、広めること。自分も利用者となること。
- 定期的に使ってみます。
- 自分としては使用したことはあります。使いづらさを感じましたが、他の仲間にも案内したい。
- 自分自身が地域通貨について理解すること
- とりあえず使ってみる
- 積極的に OTACO を使用する。
- 使ってみること、試すこと
- OTACO を使ったり、手に入れたりしてみようかな..
- 「使う」こと

13. その他、全体を通じた感想やコメント

- 素敵な機会を頂き、ありがとうございました！また機会があればぜひ参加させていただきたいと思います。
- コーディネーターの方の話が分かりやすく、話せば変わるかもと期待できるので話してみようと思えました。PR を待つだけではなく自分から知ろうと思わないといけないと思いました。
- 次の機会があったらまた参加したいです。
- 自分の知見を広め、地域の課題や行政について考えることのできる大変貴重な機会に参加することができてよかった。
- 人脈が広がってよかった。
- 写真が緊張した。
- 楽しく勉強させていただきました。
- 地域の問題を自分ごととして考えるきっかけになり、市政にも反映していただけるこのような会議は引き続き実施していただきたいと思います。
- スタッフの方々ご苦労様でした
- 会議が有る毎に、インターネットの情報を事前に調べ少しでも会議に前向きに参加することが出来ました。
- 楽しかったです！また機会があったらぜひよろしくお願いします。

自分ごと化 会議

私に関係ある？ ある！